Dell Latitude 10 – ST2e
オーナーズマニュアル

規制モデル： T05G
規制タイプ： T05G001

メモ、注意、警告

メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

2013 - 01

Rev. A00

目次

1

コンピューター内部の作業

コンピューター内部の作業を始める前に

コンピューターの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピューター内部の作業を始める」の手順を実行していること。
- コンピューターに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ（www.dell.com/regulatory_compliance ）を参照してください。

注意: 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

注意: 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピューターの裏面にあるコネクターなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

注意: コンポーネントとカードは丁寧に取り扱ってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサーなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

注意: ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクターかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクターにロッキングタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロッキングタブを押さえてください。コネクターを引き抜く場合、コネクターピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクターが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

メモ: お使いのコンピューターの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピューターの損傷を防ぐため、コンピューター内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピューターのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピューターの電源を切ります。
3. コンピューターがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。

   注意: ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピューターから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

4. コンピューターからすべてのネットワークケーブルを外します。
5. コンピューターおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。

6. 平らな作業面でコンピューターを裏返します。

メモ: システム基板の損傷を防ぐため、コンピューター内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

7. メインバッテリーを取り外します。
8. コンピューターを表向きにします。
9. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

注意: 感電防止のため、ディスプレイを開く前に、必ずコンセントからコンピューターの電源プラグを抜いてください。

注意: コンピューターの内部に触れる前に、コンピューターの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

10. 取り付けられているスマートカードをスロットから取り外します。

コンピューターの電源を切る

注意: データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。
   - Windows 8 の場合：
     * タッチパネル入力を有効にするデバイスの用法:

       画面の右端からスワイプし、チャームメニューを開き、**設定**を選択します。⏻ を選択し、続いて**シャットダウン**を選択します。
     * マウスの用法:

       画面の右上隅をポイントし、**設定**をクリックします。⏻ をクリックし、続いて**シャットダウン**を選択します。
2. コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合は、電源ボタンを約 4 秒間押し続けて電源を切ります。

コンピューター内部の作業を終えた後に

交換（取り付け）作業が完了したら、コンピューターの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどを接続したか確認してください。

注意: コンピュータを損傷しないために、この特定の Dell コンピュータのために設計されたバッテリーのみを使用します。他の Dell コンピュータのために設計されたバッテリーは使用しないでください。

1. ポートレプリケーター、バッテリースライス、メディアベースなどの外部デバイスを接続し、ExpressCard などのカードを交換します。
2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピューターに接続します。

注意: ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピューターに差し込みます。

3. バッテリーを取り付けます。
4. コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
5. コンピューターの電源を入れます。

2

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- #0 プラスドライバ
- #1 プラスドライバ
- 小型のプラスチックスクライブ

内部ビュー

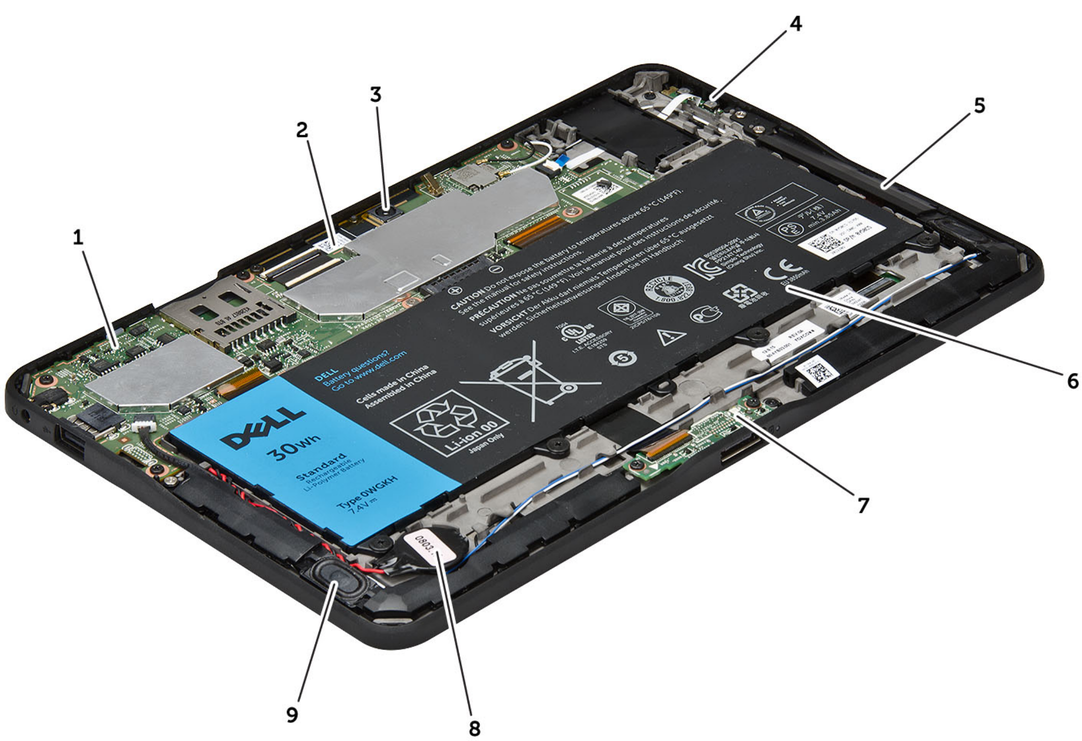


図 1. 内部ビュー

1. システム基板
2. 前面カメラ
3. 背面カメラ
4. バッテリー

5. ボリュームボタン
6. スピーカー
7. バッテリー
8. ドッキング基板
9. コイン型電池
10. スピーカー

ベースカバーの取り外し

1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. 図の矢印で示す順に、ベースカバーをコンピューターから引き出し、持ち上げます。

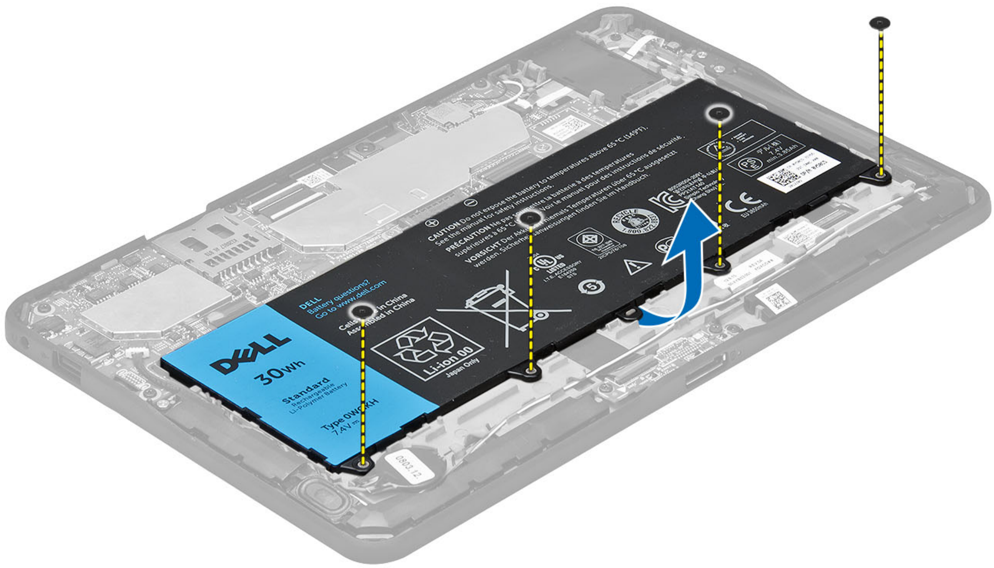


ベースカバーの取り付け

1. ベースカバーをコンピューターに装着します。
2. *「コンピュータ内部の作業を終えた後に」*の手順に従います。

バッテリーの取り外し

1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。
3. バッテリーをコンピューターに固定しているネジを外し、バッテリーをコンピューターから持ち上げます。

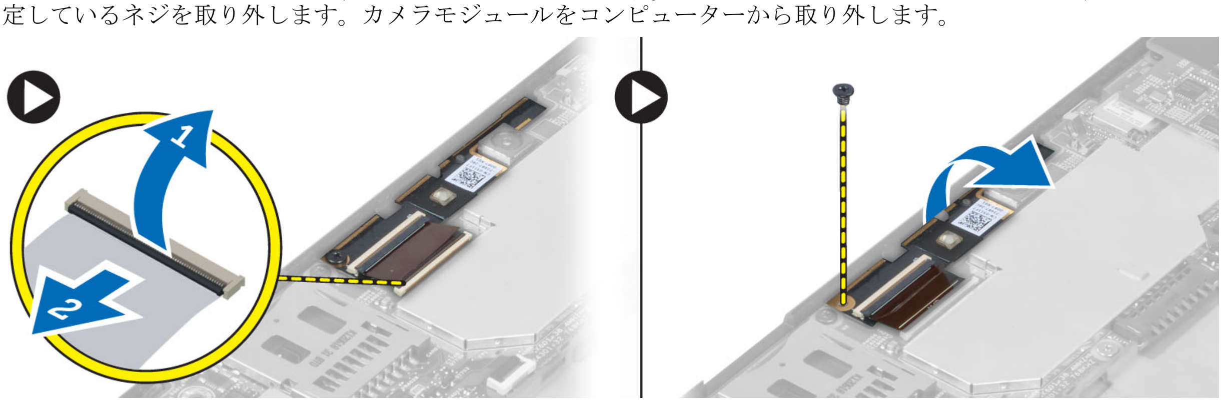


バッテリーの取り付け

1. バッテリーをコンピューターに固定するネジを締めます。
2. ベースカバーを取り付けます。
3. *「コンピュータ内部の作業を終えた後に」*の手順に従います。

前面カメラの取り外し

1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) ベースカバー
   b) バッテリー
3. コネクターラッチを持ち上げて、カメラケーブルを外します。カメラモジュールをコンピューターに固定しているネジを取り外します。カメラモジュールをコンピューターから取り外します。

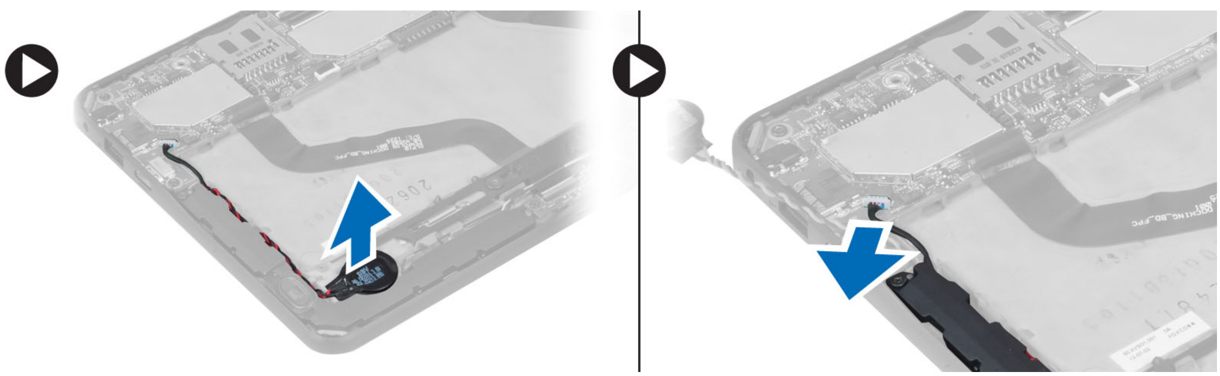


前面カメラの取り付け

1. カメラモジュールをコンピュータの所定のスロットに取り付けます。
2. ネジを締めて、カメラモジュールをコンピュータに固定します。
3. カメラケーブルをコネクターに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) バッテリー
   b) ベースカバー
5. 「*コンピューター内部の作業を終えた後に*」の手順に従います。

スピーカーの取り外し

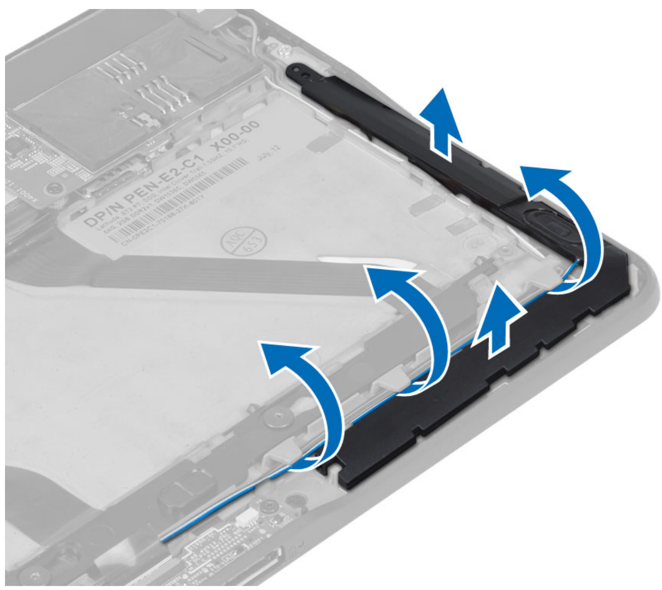
1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. 以下を取り外します。
   a) ベースカバー
   b) バッテリー
3. コイン型電池をスロットから持ち上げて、スピーカーの下からケーブルの配線を外します。スピーカーコネクターをシステム基板から外します。



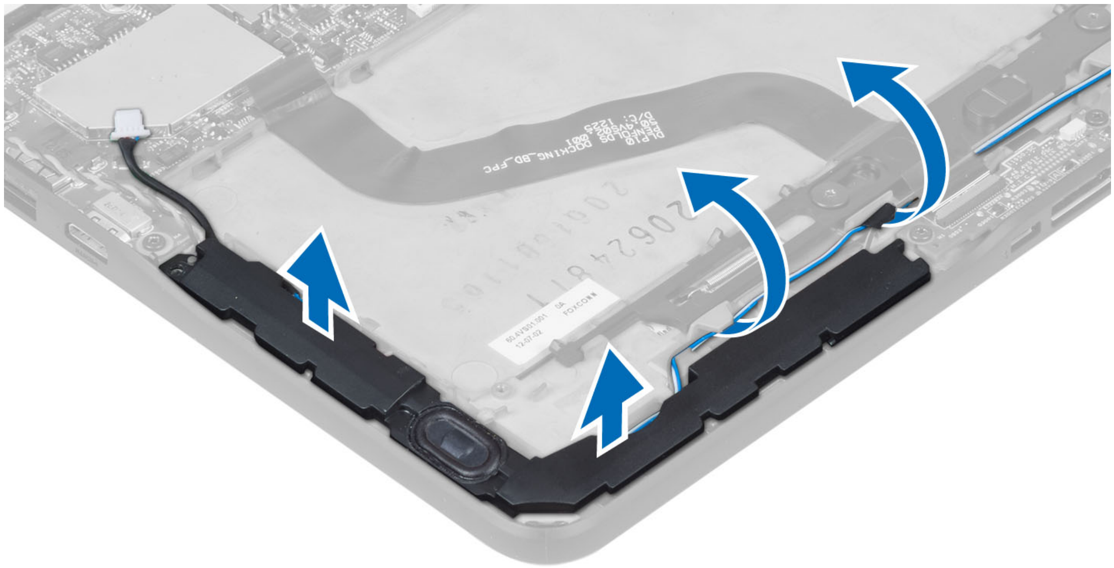
4. スピーカーをコンピュータに固定しているネジを外します。



5. コンピューターの側面にあるスピーカーケーブルの配線を外して持ち上げ、コンピューターからスピーカーを取り外します。



6. コンピューターの側面にあるスピーカーケーブルの配線を外して持ち上げ、コンピューターからスピーカーを取り外します。

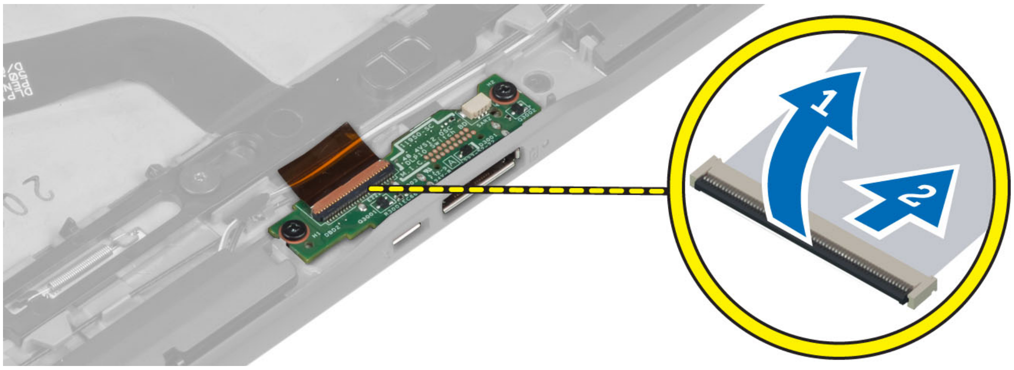


スピーカーの取り付け

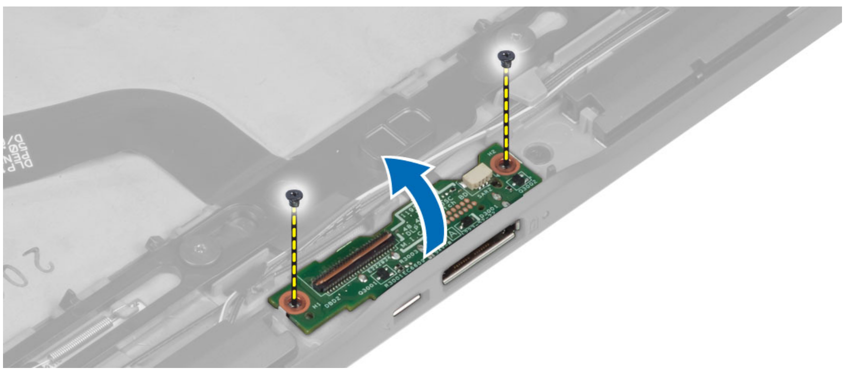
1. 左右のスピーカーをスロットに入れます。
2. スピーカーケーブルをシャーシーに配線します。
3. ネジを締めてスピーカーをシャーシーに固定します。
4. コイン型電池をスロットに入れ、ケーブルを配線します。
5. スピーカーコネクターケーブルをシステム基板上のポートに接続します。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) バッテリー
   b) ベースカバー
7. *「コンピュータ内部の作業を終えた後に」*の手順に従います。

ドッキングボードの取り外し

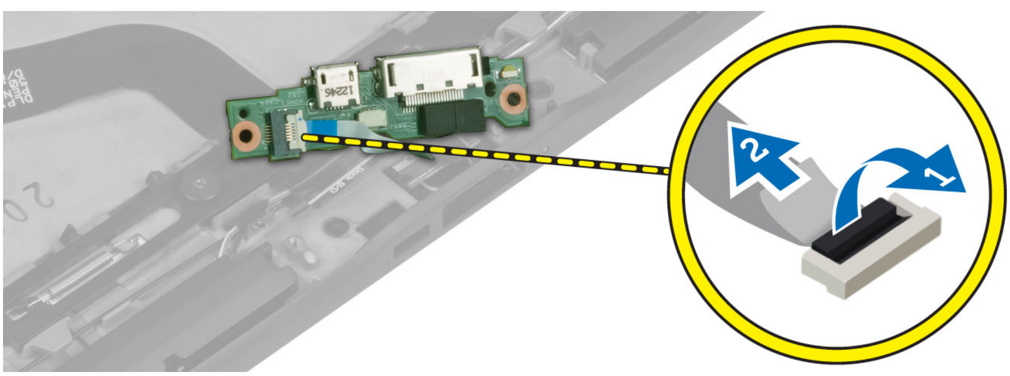
1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) ベースカバー
   b) バッテリー
   c) スピーカー
   d) 前面カメラ
3. コネクターラッチを持ち上げて、コネクターからドッキング基板電源ケーブルを外します。



4. ドッキング基板をコンピューターに固定しているネジを外します。



5. ドッキング基板をコンピューターから取り外し、ホームボタン基板ケーブルを外します。

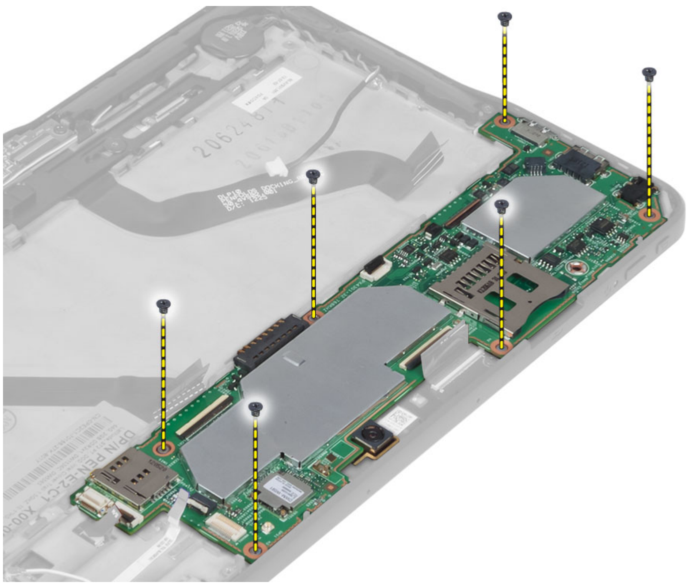


ドッキングボードの取り付け

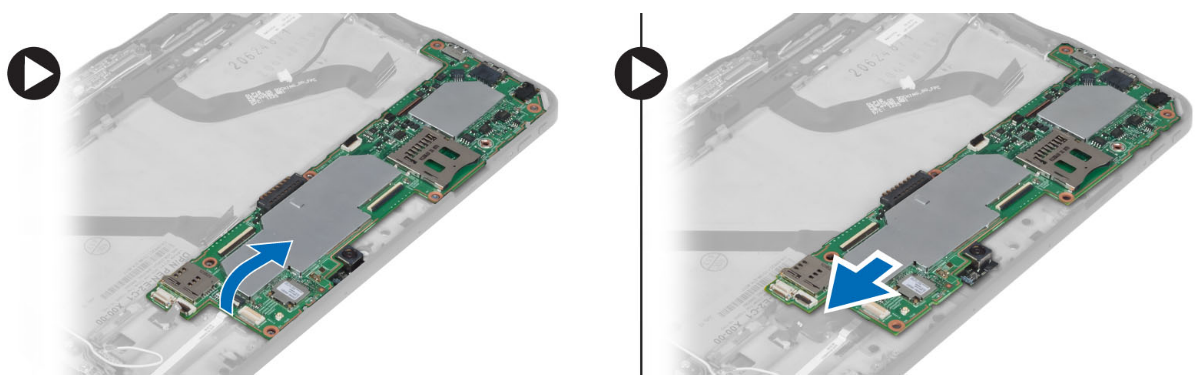
1. ホームボタン基板をドッキング基板に接続し、ドッキング基板をコンピュータ内の所定の位置に入れます。
2. ドッキング基板をコンピューターに固定するネジを締めます。
3. ドッキング基板電源ケーブルをコネクターに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) 前面カメラ
   b) スピーカー
   c) バッテリー
   d) ベースカバー
5. 「*コンピューター内部の作業を終えた後に*」の手順に従います。

システム基板の取り外し

1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) ベースカバー
   b) バッテリー
   c) スピーカー
   d) 前面カメラ
   e) ドッキング基板
3. LVDS ケーブルとドッキング基板ケーブルを外します。
4. システム基板をコンピュータに固定しているネジを外します。



5. 45° の角度でシステム基板を持ち上げてコンピューターから抜き取ります。



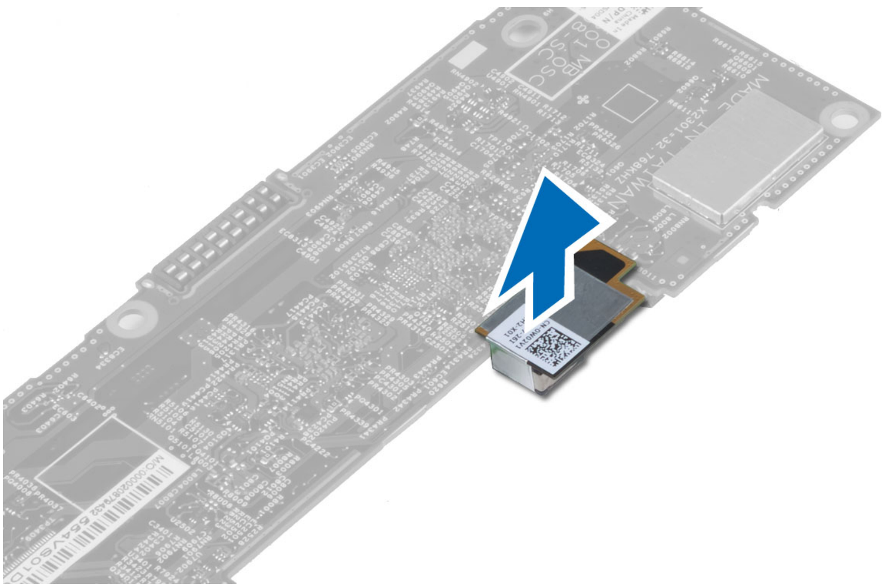
システム基板の取り付け

1. システム基板をコンピューターの実装部に入れます。
2. ネジを締めてシステム基板をコンピュータに固定します。
3. システム基板に LVDS ケーブルとドッキング基板ケーブルを接続します。

4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) ドッキング基板
   b) 前面カメラ
   c) スピーカー
   d) バッテリー
   e) ベースカバー
5. 「*コンピューター内部の作業を終えた後に*」の手順に従います。

背面カメラの取り外し

1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) ベースカバー
   b) バッテリー
   c) スピーカー
   d) 前面カメラ
   e) システム基板
3. カメラモジュールをシステム基板から取り外します。

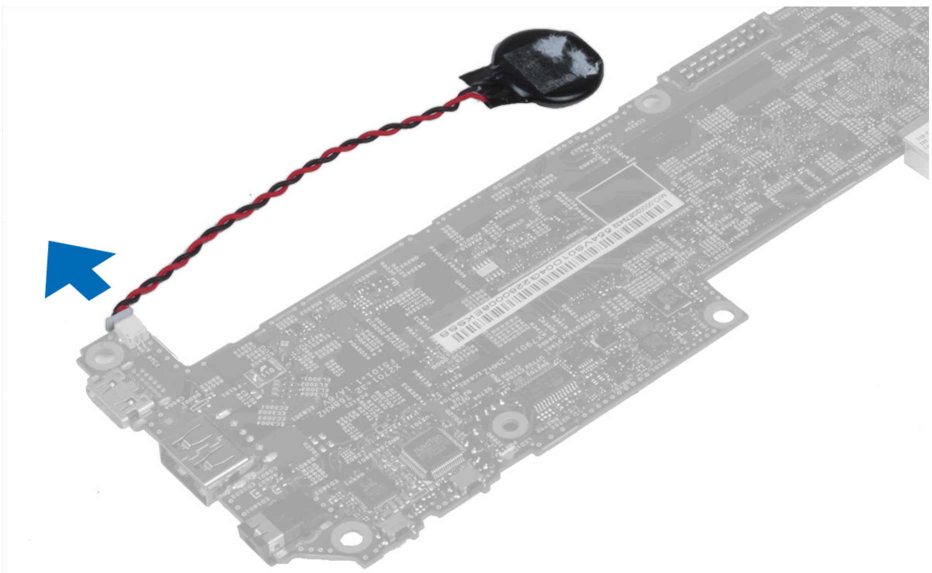


背面カメラの取り付け

1. カメラモジュールををシステム基板の所定のスロットに入れます。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) システム基板
   b) 前面カメラ
   c) スピーカー
   d) バッテリー
   e) ベースカバー
3. 「*コンピューター内部の作業を終えた後に*」の手順に従います。

コイン型電池の取り外し

1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) ベースカバー
   b) バッテリー
   c) スピーカー
   d) 前面カメラ
   e) システム基板
3. コイン型電池ケーブルを外し、コンピューターから取り外します。



コイン型バッテリーの取り付け

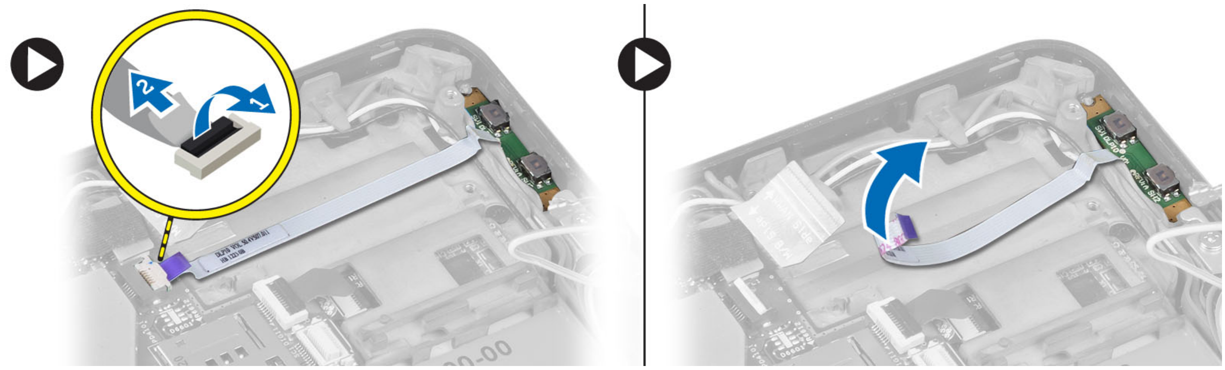
1. コイン型バッテリーケーブルをシステム基板に接続します。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) システム基板
   b) 前面カメラ
   c) スピーカー
3. コイン型電池をコンピュータのスロットに取り付けます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) バッテリー
   b) ベースカバー
5. *「コンピュータ内部の作業を終えた後に」*の手順に従います。

ボリュームボタン基板の取り外し

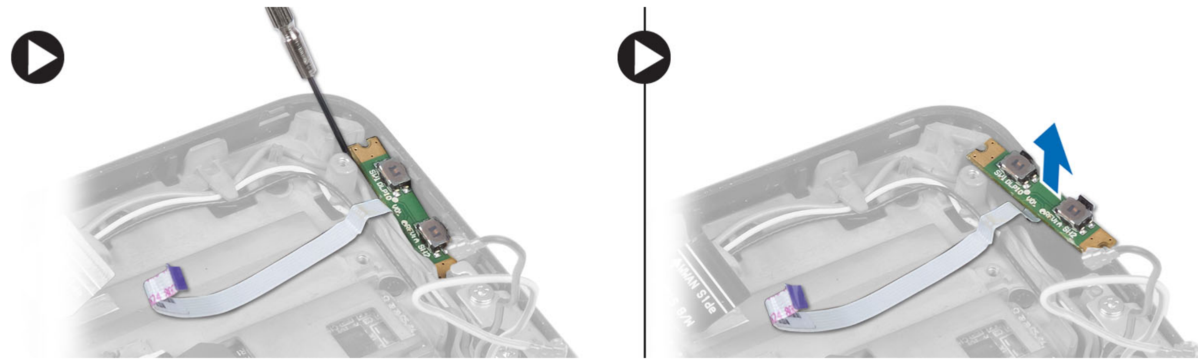
1. 「*コンピューター内部の作業を始める前に*」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
   a) ベースカバー

b) バッテリー

3. ボリューム基板ケーブルをコネクターから外します。ボリューム基板ケーブルを持ち上げ、システム基板から外します。



4. マイナスドライバーを使用して、ボリュームボタン基板の両側を引き出し、コンピューターのスロットから緩めます。ボリュームボタン基板をコンピューターから取り外します。



ボリュームボタン基板の取り付け

1. ボリュームボタン基板をコンピューターの所定のスロットに入れます。
2. ボリューム基板ケーブルをコネクターに配線し、接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
   a) バッテリー
   b) ベースカバー
4. 「*コンピューター内部の作業を終えた後に*」の手順に従います。

3

システムセットアップ

システムセットアップでコンピューターのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。システムセットアップで以下の操作が可能です:

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 統合されたデバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピューターのセキュリティを管理する。

セットアップユーティリティ (BIOS)の起動

メモ: セットアップユーティリティを起動する前に、コンピューターの右側にある USB ポートに USB キーボードを接続してください。コンピューターがドッキングされている場合、USB ポートはドッキングステーションの背面にあります。

1. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。
2. 青色の DELL のロゴが表示されたら、F2 プロンプトが表示されるまで待機してください。
3. F2 プロンプトが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

   メモ: F2 プロンプトはキーボードが初期化されたことを示します。このプロンプトはすぐに消えるため、表示されるのを注意して待ち、表示されたら <F2> を押してください。プロンプトが表示される前に <F2> を押した場合、そのキーストロークは無視されます。

4. セットアップユーティリティ画面が表示されます。
5. キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピューターをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

セットアップユーティリティの移動操作

セットアップユーティリティの画面を移動するには以下のオプションを使用します。

キーストローク	動作
< Esc >	現在の表示を終了するか、またはセットアップユーティリティの Exit（終了）ページに移動します。
<オンスクリーンキーボードアイコン>	タブレットに組み込まれたオンスクリーンキーボードを使用して、このオプションを選択し、セットアップユーティリティを移動します。
< 上矢印 >または < 下矢印 > (光学式外付け USB キーボードに接続されている場合)	表示するアイテムを選択します。

キーストローク	動作
< 左矢印 >または < 右矢印 > (光学式外付け USB キーボードに接続されている場合)	表示するメニューを選択します。
オンスクリーンマウスポインター	これを使用し、指または電子ペンを使用して、セットアップユーティリティを移動します。
アイコンを適用する	現在の設定を保存します。
アイコンにデフォルトします	セットアップデフォルトの読み込み
アイコンを終了する	セットアップユーティリティを終了します。

起動メニュー

Dell のロゴが表示されたら、<F12> キーを押して、システムの有効な起動デバイスの一覧を表示した一時的な起動メニューを開始します。このメニューには、**Hard Drive** （ハードドライブ）、**Network**（ネットワーク）、**Diagnostics**（診断）、および **Enter Setup**（セットアップユーティリティの起動）のオプションがあります。システムで起動可能なデバイスが起動メニューに一覧表示されます。このメニューが役に立つのは、ある特定のデバイスを起動する場合やシステムの診断を行う場合です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は一切変更されません。

セットアップ(BIOS)オプション

表 1. システム情報

オプション	機能
BIOS Version	BIOS リビジョンを表示します。
Service Tag	タブレットの service tag を表示します。
Asset Tag	お使いのコンピュータの Asset Tag が表示されます。
Ownership Tag	オーナーシップ情報を表示します。
Manufacture Date	製造日を表示します。
Ownership Date	ownership date を表示します。
Memory Installed	コンピューターに取り付けられているメモリを表示します。
Memory Available	コンピューターで利用可能なメモリを表示します。
Memory Speed	メモリ速度を表示します。

表 2. Battery Information（バッテリー情報）

オプション	機能
AC Adapter	AC Adapter 情報を表示します。
Battery Status	現在の battery status を表示します。
Battery Charge State	バッテリーの充電/非充電状態を表示します。
Battery Health	battery health を表示します。

表 3. 起動順序

オプション	機能
File Browser Add Boot Option	起動するオペレーティングシステムを見つける場合に、BIOS がデバイスを検索する順序を表示します。新規デバイスがここに追加されます。
File Browser Del Boot Option	表示された起動デバイスは起動順序から削除できます。

表 4. 日付/時刻

オプション	機能
System Date	system date を表示します。
System Time	system time を表示します。

表 5. System Configuration（システム設定）

オプション	機能
USB Configuration	USB マスストレージデバイスからの起動を有効にまたは無効にします。デフォルト有効
Miscellaneous Devices	各種オンボードデバイスを有効または無効に設定することができます。 • 前面カメラデバイスを有効/無効にする • 背面カメラデバイスを有効/無効にする • メディアカードデバイスを有効/無効にする • GPS を有効/無効にする

表 6. ビデオ

オプション	機能
LCD Brightness	周囲光センサーがオフの場合に、パネル輝度を表示します。 • バッテリー • AC の輝度

表 7. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	このフィールドでは、管理者（admin）パスワード（セットアップパスワードと呼ばれる場合もある）を設定、変更、または削除します。admin password ではいくつかのセキュリティ機能を有効にすることができます。 ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。 新しいパスワードを追加するには: • Enter the old password（古いパスワードを入力する） • Enter the new password（新しいパスワードを入力する） • Confirm the new password（新しいパスワードを確認する） パスワードを入力し終えたら **OK** をクリックします。
System Password	コンピューターのパスワード（以前プライマリパスワードと呼ばれていた）を設定、変更、または削除することができます。 ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。 新しいパスワードを追加するには: • Enter the old password（古いパスワードを入力する） • Enter the new password（新しいパスワードを入力する） • Confirm the new password（新しいパスワードを確認する） パスワードを入力し終えたら **OK** をクリックします。
Strong Password	Enable strong password（強力なパスワードを有効にする） - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Password Configuration	このフィールドは、Admin password および System pasaword の最小、および最大文字数をコントロールします。このフィールドへの変更は、セットアップユーティリティを終了する前にボタンを適用するか、変更を保存しなければ、アクティブにはなりません。 • Admin Password Min（管理者パスワードの最小文字数） • Admin Password Max（管理者パスワードの最大文字数） • System Password Min（システムパスワードの最小文字数） • System Password Max（システムパスワードの最大文字数）
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定することができます。 • 非管理者パスワード変更を可能にします(デフォルト)
Non-Admin Setup Changes	Administrator password を設定している場合、このオプションは、オプションのセットアップの変更を許可するかどうかを決定します。 • ワイヤレススイッチの変更を可能にします(デフォルト)
TPM Security	このオプションでは、システムの TPM（Trusted Platform Module）を有効にし、オペレーティングシステムで認識されるようにするかどうかを制御します。 TPM セキュリティ(デフォルト)

オプション	説明
	メモ: セットアッププログラムのデフォルト値を読み込んでも、起動、起動しない、および消去のオプションには影響しません。このオプションが変更されると、すぐに反映されます。
PTT	PTT サポートの有効または無効を可能にします。 • PTT セキュリティ(デフォルト) • トラストを取り消す(デフォルト)
Computrace (R)	このフィールドでは、オプションの *Absolute Software* 社製 *Computrace Service* の BIOS モジュールインタフェースを起動または無効にします。 • 無効にする（デフォルト） • 無効 • アクティブ化
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、セットアップユーティリティを起動するオプションを有効または無効にすることができます。 • Admin Setup Lockout を有効にする(デフォルト)

表 8. Secure Boot

オプション	機能
Secure Boot	secure boot 機能を有効または無効にします。デフォルト:無効
Expert Key Management	すべての secure boot キーの管理を可能にします。

表 9. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	プロセスが 1 つまたはすべてのコアを有効にするかどうか指定します。コアを追加することでアプリケーションのパフォーマンスが向上する場合があります。 • すべて (デフォルト) • 1 • 2
Intel SpeedStep	プロセッサーの Intel SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。 • Intel(R) SpeedStep を有効にする(デフォルト)
C States Control	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。 • C 状態(デフォルト)
Intel TurboBoost	プロセッサーの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。

オプション	説明
	• Intel TurboBoost を有効にする（デフォルト） — Intel TurboBoost ドライバーにより CPU またはグラフィックスプロセッサのパフォーマンスを向上させることができます。
Hyperthread Control	このオプションによって Hyperthread コントロールを有効および無効にすることができます。 • Hyperthread コントロール (デフォルトで選択済み)

表 10. 電源管理

オプション	説明
AC Behavior	AC アダプタが接続されている場合に、コンピュータの電源が自動的に入るように設定できます。このオプションは無効に設定されています。 • Wake on AC（ウェイクオン AC）
Wake on LAN	特殊な LAN 信号でトリガーされると、電源オフの状態からコンピュータを起動させることができるオプションです。スタンバイ状態からのウェイクアップはこの設定の影響を受けず、オペレーティングシステムで有効にされている必要があります。この機能は、コンピュータを AC 電源に接続している場合にのみ有効です。 • 無効 - LAN またはワイヤレス LAN からウェイクアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの電源投入が許可されません。(デフォルト) • LAN Only（LAN のみ） - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。

表 11. POST Behaviour（POST 動作）

オプション	説明
Adapter Warnings	特定の電源アダプタを使用する場合に、アダプタの警告メッセージが表示されるように設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Enable Adapter Warnings（アダプタの警告を有効にする）
POST Hotkeys	サインオン画面にメッセージを表示するかどうかを指定します。このメッセージには、BIOS Boot Option Menu（BIOS ブートオプションメニュー） を起動するのに必要なキーストロークシーケンスが表示されます。 • F12 オプションメニューを有効にする) (デフォルト)。

表 12. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	このオプションでは、インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM（Virtual Machine Monitor）で使用できるようにするかどうかを指定します。 • Intel Virtualization テクノロジを有効にする (デフォルト)

表 13. ワイヤレス

オプション	説明
Wireless Device Enable	ワイヤレスデバイスを有効化または無効化することができます。 • WLAN • Bluetooth すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

表 14. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	コンピューターのサービスタグを表示します。
Asset Tag	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。

表 15. システムログ

オプション	説明
BIOS events	システムイベントログを表示し、そのログを消去することができます。 • ログのクリア

4

コンピューターのトラブルシューティング

診断ライト、ビープコード、およびエラーメッセージなどのインジケーターを使って、コンピューターの操作中にトラブルシューティングを行うことができます。

ePSA（強化された起動前システムアセスメント）

ePSA はコンピューター付属の診断ユーティリティです。このユーティリティには、コンピューターのハードウェア用のテストがいくつか含まれています。コンピューターにメディア（ハードドライブ、オプティカルドライブなど）がまったくない場合でも、これらのテストを実行することができます。ePSA でテスト済みのコンポーネントが故障した場合、システムはエラーコードを表示し、ビープコードを生成します。

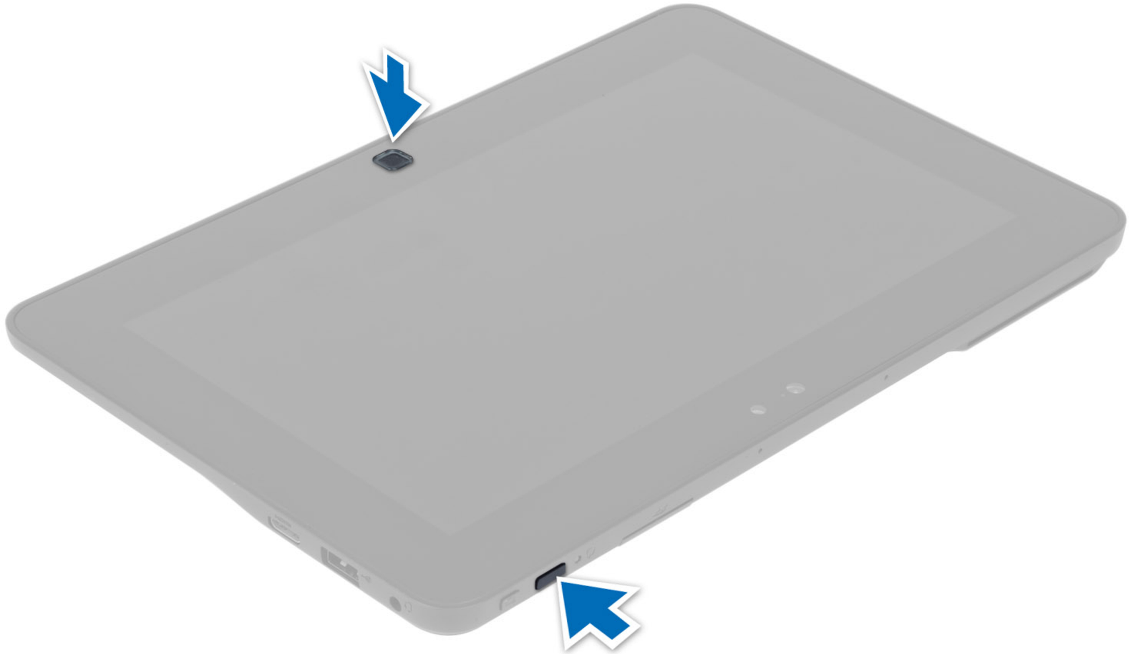
機能

- グラフィカルユーザーインタフェース
- 自動デフォルト動作 - すべてのデバイスでテストを実行、ユーザーは中断させることおよびデバイスを選択することが可能
- 全 OS 環境での起動に備えたマスター起動レコードの確認
- タブレットパネルテスト
- ビデオメモリのテスト
- バッテリーのテスト
- 充電器のテスト
- イベントログのスキャン
- マルチプロセッサーキャッシュのテスト

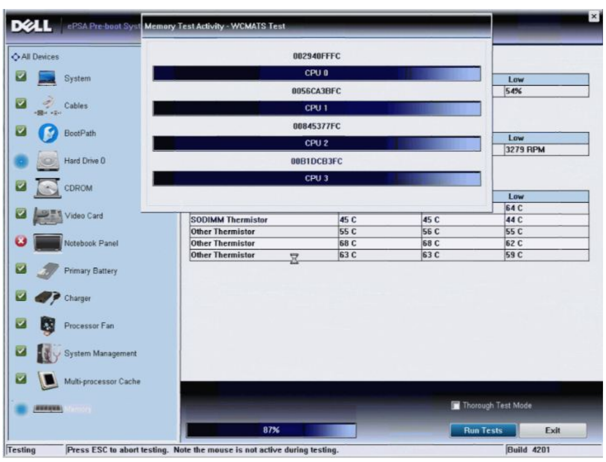
ePSA 診断ユーティリティの実行

メモ: 次の手順により、外付けキーボードを使用せずに DOS モードで ePSA 診断ユーティリティを実行することができます。

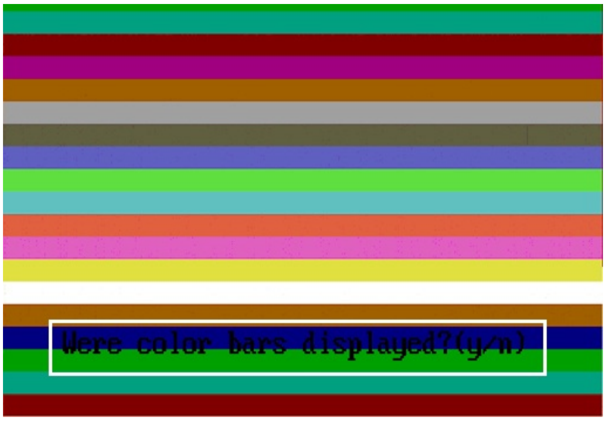
1. システムの電源を入れた直後に、<電源> + <起動>ボタンを 1 秒間同時に押します。



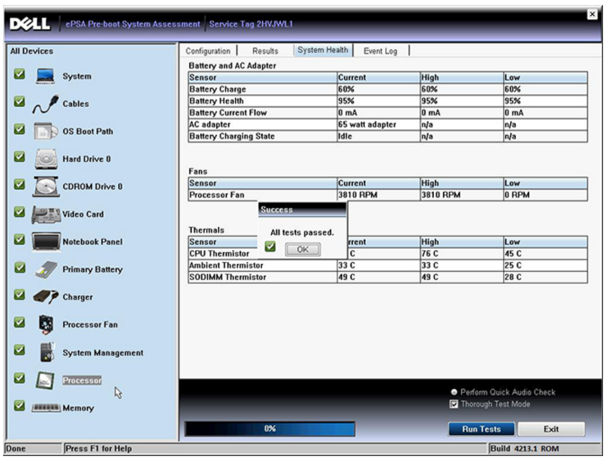
2. コンピューターは始動し、ePSA ユーティリティを自動的に実行し始めます。



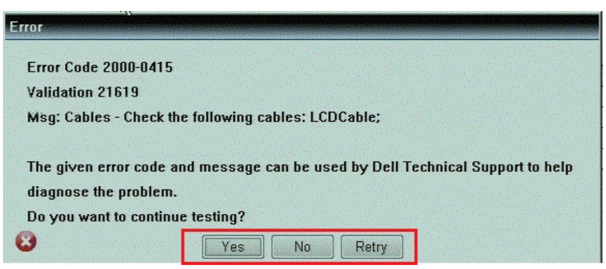
3. テストプロセスの間、ある質問に対して YES か NO で回答するように指示があります。YES を回答するには音量上げボタンを、NO を回答するには音量下げボタンを押します。



4. テストが終了したら、セキュリティボタン (<Ctrl> + <Alt> + <Del>) を押して、**OK** をクリックします。



5. オプションを切り替える場合、音量上げボタンと音量下げボタンを<タブ>キーとして使用することもできます。



ビープコード

ディスプレイがエラーや問題点を表示できない場合、コンピューターは起動中に連続したビープ音を発することがあります。ビープコードと呼ばれる連続したビープ音により、さまざまな問題を特定することができます。各ビープ音間のディレイは 300 ms、ビープ音の各セット間のディレイは 3 秒であり、ビープ音は 300 ms 続きます。各ビープ音とビープ音の各セットの後、BIOS が電源ボタンが押されたかどうかを検出します。BIOS はループからジャンプして、通常のシャットダウンプロセスとシステムの電源投入を実行します。

コード	原因とトラブルシューティングの手順
1	BIOS ROM チェックサムが実行中、またはエラー発生 システム基板の障害です。BIOS の破損または ROM エラーを修復します
2	RAM が検出されない メモリが検出されませんでした
3	チップセットエラー（North と South Bridge チップセット、DMA/IMR、タイマーエラー）、時刻クロックテストの失敗、Gate A20 の障害、Super I/O チップの障害、キーボードコントローラーテストの失敗 システム基板の障害です
4	RAM 読み取り/書き込み障害 メモリの障害です
5	リアルタイムクロックの電源障害 CMOS バッテリーの障害です
6	ビデオ BIOS テストの失敗 ビデオカードの障害です
7	CPU キャッシュテストの失敗 プロセッサーの障害です
8	ディスプレイ ディスプレイの障害です

LED エラーコード

診断 LED コードを伝える手段は電源ボタン LED です。電源ボタン LED は、障害状態に対応させた LED コードに合わせて点滅します。たとえば、メモリが検知されない（LED コード 2）場合、電源ボタン LED は 2 回点滅した後に間を置く動作を繰り返します。このパターンはシステムの電源がオフになるまで続きます。

コード	原因とトラブルシューティングの手順
1	システム基盤：BIOS ROM 障害 システム基板の障害です。BIOS の破損または ROM エラーを修復します
2	メモリ メモリ/RAM が検出されませんでした
3	チップセットエラー（North と South Bridge チップセット、DMA/IMR、タイマーエラー）、時刻クロックテストの失敗、Gate A20 の障害、Super I/O チップの障害、キーボードコントローラーテストの失敗 システム基板の障害です
4	RAM 読み取り/書き込み障害 メモリの障害です
5	リアルタイムクロックの電源障害 CMOS バッテリーの障害です

コード	原因とトラブルシューティングの手順
6	ビデオ BIOS テストの失敗 ビデオカードの障害です
7	CPU キャッシュテストの失敗 プロセッサーの障害です
8	ディスプレイ ディスプレイの障害です

5

仕様

仕様

メモ: 提供される内容は地域によって異なります。次の仕様には、コンピューターの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。お使いのコンピューターの設定については、**スタート → ヘルプとサポート** をクリックして、お使いのコンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

システム情報	
チップセット	Intel Atom Z2760
DRAM バス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	SPI 4M ビット

プロセッサー	
タイプ	Intel Atom Z2760
外付けバスの周波数	800 MHz

メモリ	
メモリ容量	2 GB
メモリのタイプ	LPDDR2

オーディオ	
タイプ	デュアルチャネル I2S コーデック
Contoroller（コントローラー）	Realtek ALC3261
ステレオ変換	24 ビット
インタフェース：	
内蔵	I2 S オーディオインターフェース
外部	マイク入力およびステレオヘッドフォン / スピーカーコンボコネクタ
スピーカー	2 x 1 W ステレオスピーカー
内蔵スピーカーアンプ	1 W/チャネル

ビデオ	
ビデオのタイプ	内蔵
データバス	内部
ビデオコントローラー	Intel グラフィックスメディアアクセラレーター

通信	
ネットワークアダプター	ドック経由 USB 2.0 ベースのギガビット LAN

ポートとコネクター	
オーディオ	マイク入力(1)およびステレオヘッドフォン / スピーカーコンボコネクター
ビデオ	ミニ HDMI コネクター(1)
USB	USB 2.0 コネクタ x 1
メモリカードリーダー	3-in-1 メモリカードリーダー（1）

ディスプレイ	
タイプ	HD IPS LED
サイズ	10.1 インチハイデフィニッション（HD）
寸法：	
高さ	125.11 mm (4.93 インチ)
幅	222.52 mm (8.76 インチ)
対角線	255.28 mm (10.05 インチ)
有効領域（X/Y）	222.52 mm / 125.11 mm
最大解像度	1366 x 768 ピクセル
通常の輝度	470 ニト
リフレッシュレート	60 Hz
最小視角：	
水平方向	80/80
垂直方向	80/80
ピクセルピッチ	0.1629 x 0.1629

バッテリ	
タイプ	2 セルリチウムイオン(30 WHr)
寸法	
長さ	238.30 mm (9.38 インチ)
高さ	5.48 mm (0.22 インチ)
幅	86.50 mm (3.40 インチ)

バッテリ	
重量	220.00 g (0.49 lb)
電圧	7.4 VDC
温度範囲	
動作時	0 °C ～ 50 °C (32 °F ～ 158 °F)
非動作時	-20 °C ～ 65 °C (–4 °F ～ 149 °F)
コイン型バッテリー	3 V 2025 リチウムイオン

AC アダプター	
タイプ	
入力電圧	100 ～ 240 VAC
入力電流（最大）	0.87 A
入力周波数	50 ～ 60 Hz
出力電力	30 W
出力電流（30 W）	1.54 A
定格出力電圧	19 Vdc/1.58 A; 19.5 Vdc/1.54 A
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 °C（32 ～ 95 °F）
非動作時	–40 ～ 65 °C（–40 ～ 149 °F）

物理的仕様	
高さ	10.50 mm (0.41 インチ)
幅	274 mm (10.79 インチ)
長さ	176.60 mm (6.95 インチ)
重量（最小）	699 g (1.54 lb)

環境	
温度：	
動作時	-25 °C ～ 85 °C
ストレージ	-40 °C ～ 85 °C
相対湿度（最大）：	
動作時	動作時：10 ％ ～ 90 ％ （結露しないこと）
ストレージ	保管時：5 % ～ 95 %（結露しないこと）
高度（最大）：	
動作時	–16 ～ 3048 m（–50 ～ 10,000 フィート）

環境	
非動作時	–15.2 ～ 10,668 m（–50 ～ 35,000 フィート）
空気中浮遊汚染物質レベル	G1（ISA-71.04–1985 の定義による）

6

デルへのお問い合わせ

デルへのお問い合わせ

メモ: お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **www.dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある「国/地域の選択」ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。